

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校

☎ 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第 8 号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成29年12月1日

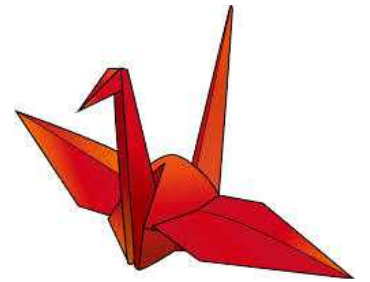
メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

## 平和への思いと祈りに触れて—初めての広島市訪問—

校長 中島 俊尚

11月16, 17日と第56回政令指定都市中学校国語教育研究協議会広島大会に参加してきました。こういう会合に出席すると、改めて自分は中学校の国語科の教員として長く勤めてきたんだなあという初心に戻ることができます。

初めて訪れた広島市、まちは平和への思いと祈りに満ち溢れていました。その中心にあるのが平和記念公園。今でも全国から、深い祈りとともにたくさんのおりづるが送られてくるそうです。公園内にはそのおりづるを展示するスペースがかなりあるのですが、全国から毎日のように送られてくるおりづるを飾るにはやはり限界があります。ある程度の期間、展示されたおりづるたちはリサイクルされ、広島市内の小・中・高等学校の児童生徒に授与される卒業証書の用紙として再利用されているそうです。



さて、初心に戻った私は、11月20日の朝礼で、「大原中の生徒はあたりまえのことをあたりまえにできる生徒であり続けてほしい」との願いを込めて、次の4つを生徒たちに求めました、①気持ちのよい、さわやかなあいさつができる生徒でいてほしい ②登下校時の歩き方について意識して気を付ける生徒でいてほしい ③時間をしっかり守れる生徒でいてほしい ④清掃にしっかり取り組める生徒でいてほしい。2学期も残すところ1か月を切りました、大原中の生徒はとても優秀ですが、先ほどの4点についてやや課題があると受け止めております。学校と家庭と力を合わせて、これらの課題を解決していきたいと考えております。

さらに講話の最後に、進路の課題に一生懸命取り組んでいる最上級生に対し、次のような話をしてエールを送りました、「これまで学校を全力で引っ張ってきてくれて本当にありがとう。いよいよ進路の選択が目前に来ています。校長先生をはじめ大原中の先生方は、いつも学校をよい方向に導いてくれた、すばらしい3年生のみなさんを、心から応援しています。去年の3年生もちょうど今頃が一番苦しそうでした。でもみんな進路の課題を乗り越えることができました。昨年同様、すばらしい成果を上げた3年生のみなさんですから、必ず、先輩のように乗り越えられます。困ったこと、悩んでいることがありましたら、校長先生も含め、大原中の先生方に何でも相談してください。この大切なときに、ひとりで悩むことがないように、あなたの周りにはあなたの応援団がたくさんいます。ぜひ利用してください。」 がんばれ！3年生！



11月も下旬になると朝の大原中橋も寒さが厳しくなってきました。あいさつ運動で私が立っている場所のすぐ横は地域の方のごみの回収場所になっており、その上に陸上部の全国大会出場の横断幕も取り付けられています。ある日、そのごみの回収場所が別の場所に移動していることに気付きました。地域のみなさまのあたたかなご配慮に感謝申し上げます。